

2016年4月

第67号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート

TEL 018-883-1888

人工知能にプロ棋士もマイツタ

3月9日(水)から3月15日(火)にかけて囲碁ファンにとっては注目の5番勝負が行われた。

英グーグル・ディープマインド社の囲碁ソフト「アルファ碁」が世界的トップ棋士韓国のイセドル9段との対戦である。

コンピューターとゲームとの関わりは深く開発も急ピッチで進められてきた。1997年米IBMのコンピューターが、チェスの世界王者のカスパロフ氏に勝利。2010年コンピューター棋士「あから2010」が女流将棋棋士に勝利。2011年IBMが開発した人工知能が米国のクイズ番組で人間に勝利。2013年プロ棋士と将棋ソフトによる対抗戦で、ソフトが圧倒して勝利…等々。

しかし、囲碁はチェスや将棋に比べて盤面が広く、考えられる手の数は「10の360乗」にも及ぶといわれている。チェスは「10の120乗」、将棋は「10の220乗」に比べてけた違いに多い。今回の対戦でも囲碁は「地合いと厚み」など総合的判断が求められるゲームのため、コンピューターが勝利するのは早くても10年先とみられてきており、まして世界トップレベルのイセドル9段との対局では李九段が有利との見方が支配的だった。

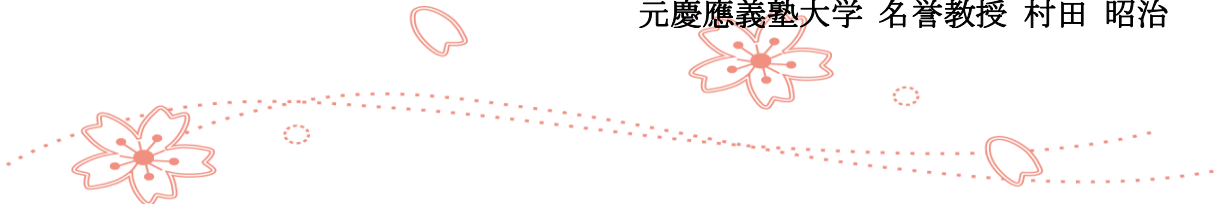
これがふたを開けてみると、コンピューターが瞬く間に3連勝、5番勝負でもコンピューターが4勝1敗で勝利をおさめた。対局内容も李九段に特に目立ったミスもなくコンピューターが完全に読み切った勝利と言われており、ディープマインド社のデミス・ハサビス最高経営責任者(CEO)は「人類の偉業を祝福すべき瞬間だ。この勝利は私の生涯の夢であり、人工知能の挑戦の結果だった」と述べており、日本の囲碁界の第一人者で現在7大タイトル戦に挑んでいる井山裕太棋聖は「李九段の三連敗は衝撃的。棋士が人工知能に超えられたと思われても仕方がないだろう。アルファ碁には人間の感性や考え方とは違う着手があり、それが人間の碁へのアプローチを一層深めるきっかけになるかもしれない」と語っている。

今回のコンピューターは人工知能の「ディープ・ラーニング」(深層学習)という複雑な情報を神経細胞のネットワークで処理する人間の脳の仕組みをまねた学習方法を活用している。深層学習は画像認識や音声認識の分野で活用が進み、無人運転で歩行者や他の車を巧みにかわし乍ら走行できることが期待され、医療分野でもがん細胞を画像から見つけ出す診断や、街角の映像から不審者を見つけ出す警備ソフト、あるいは金融や社会基盤技術への応用など幅広い分野での活用が期待されている。

人工知能研究は、過去には日本が強い分野と言われていたが、現在では海外勢に後れを取っており、産学官一体となった取り組みが求められている。

「青春の経営ロードを歩む」

元慶應義塾大学 名誉教授 村田 昭治



わたしは青春時代、倉田百三の「愛と認識との出発」を読んで心が震えた。「生の深まり、人生の体験は多様になっても、つねに青春時代にもった夢を大切にしたいし、自分の心を乾燥させたくないという思想に満ちていた。その夢を見ることをやめたとき青春は終わる。」と倉田先生は書いている。

わたしたちは「いつの間にか、社会性と処世術とのはざまのなかで、あの若々しい年代に社会正義や使命感に燃えていた輝く夢が食いつくされてしまうことが心配だ」とも記されている。

私はつねにこのことを頭に置きながら、青春を蝕み情熱を奪っていくようなものから遠ざかりたい気持ちが働いていた。その思いが自分の専門であるマーケティングを研究するようになって、経営者の方々への発言となってきたと思う。

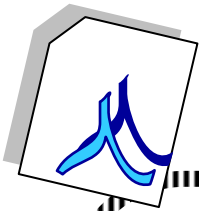
夢を、いつも清らかな使命を、そして入社するとき、社会に出るとき、あなたがもった人間思想のエレメントを変えないでほしいと訴えてきた。それはとてもよかったと私は思う。

いま、私は言うだろう。常に人間は自分の生きる生命と、思う認識とを、愛と善と驚きとを永遠に求めていくのは青春の特質でなくてはならないと。処世術だけを身につけて、それに長けていってしまったら、空虚なる生き方のなかに青春を失うのではないかということをお訴えていきたいと思っている。

社会に出た人は私を含めて、自分の青春は多くの過失に富んでいると反省するだろう。その反省のなかに必ずや新たなる一歩へ、真剣に勇敢に若々しく、これからは極力過失をつくることなく、他人の運命を傷つけることなく賢明に青春に満ちた日々を過ごさんと思うことが、私の願いだ。

世界の素敵なりーダーは永遠の若さをもっており、それが無量の気概と感慨を正面に出して勇敢に生き、ひたむきに、謙虚に、自らの使命感に基づいた仕事を全力で遂行されていることを申し上げたいのである。

「人を惹きつける経営」より



トーマス・ジェファソン (第3代アメリカ合衆国大統領)

- 1743年4月2日 バージニア植民地、バージニア入植者の古い家系に10人兄弟の3番目として生まれた。
- 1752年 スコットランド人の牧師が経営する学校に通い、ラテン語・古代ギリシャ語・フランス語などを学んだ。
- 1757年 14歳の時に父が亡くなり、5000エーカー(20km²)の領地と数十人の奴隷を相続した。
- 1760年 名門ウィリアム・アンド・メアリー大学に入学。
1762年優等賞を受けて卒業。貪欲な好奇心を持ち1日15時間も勉強することが多かった。
- 1767年 バージニア法廷弁護士となる。
数多くの訴訟を手掛けたほか数百の事案の相談に乗り、特に黒人の弁護活動に熱心だった。
- 1769年 バージニア植民地議会議員、1775年第2次大陸会議バージニア代議員となる。
- 1776年7月4日 アメリカ独立宣言が承認された。
- 1779年～81年 バージニア邦知事に就任。
- 1797年～01年 アメリカ合衆国副大統領に就任。
- 1801年～09年 アメリカ合衆国の大統領となる。
- 1819年 高等教育機関設立に尽力、バージニア大学創立。
- 1826年7月4日 アメリカ独立宣言50周年の日に83歳で死去。

オススメのBOOK



『影の権力者 内閣官房長官菅義偉』

作者 松田 賢弥 講談社+α文庫

菅義偉官房長官は秋田の豪雪地帯、秋の宮村(現在湯沢市)出身。高校を卒業と同時に上京、集団就職。苦学して法政大学卒業。地盤・看板・鞆の三バンを持たない菅氏は横浜の小此木代議士の秘書となる。

秘書歴12年目で横浜市会議員に当選。その後、小此木代議士死去に伴い、引き継ぐ形で衆議院議員に当選した。

その後の紆余曲折を経て現在官房長官に就任。あまり多くを語らないが調整能力は抜群。影の権力者と言われている。

本書は菅官房長官の生い立ちから政治家として権力の中核へと上り詰めてゆく過程やその謎に迫る力作の書だ。

今年も負担増「健康保険改正」

日本の平均寿命が延びた背景には、昭和36年「国民皆保険」が取り入れられたことが大きいとされています。誰でも一定の自己負担で医療が受けられる健康保険制度を持つ国は海外でも少数です。その皆保険を維持するために今年も負担を増やす改正が行われます。

私たちの暮らしに関わってくるものをあげてみましょう。

1、大病院に紹介状なしで行くと料金徴収
軽い病気でも診てもらうことはできますが特別料金がかかります。特別料金は、初診時だけでなく再診で受診するときも対象になりそうです。また、大病院から逆に地域の病院で診てもらうようにと紹介（逆紹介）されることがあります。紹介状があれば、大病院の特別料金はかかりませんが紹介状を出してもらうにも料金が発生します。知らずに大病院を受診すると、意外な負担に驚くことになるかもしれません。軽い病気なら行くのを考え直す人が出てくるでしょう。

2、入院時の食事代アップ

入院した場合の食事代は健康保険の適用になりませんが、国の補助があり一般的な収入の人では、1食260円が360円になります。さらに平成30年からは1食460円となります。



福島県 花見山

3、高収入の人は保険料負担がアップ

会社員の健康保険料は標準報酬月額表に照らし合わせて保険料が決められています。その上限が121万円から139万円になります。結果、給料額に変わりがなくても、保険料が高くなります。高収入の人にはそれなりに負担をしてもらうことになるわけです。

4、薬代が新・医療費控除に？

ドラッグストアなどで購入した市販薬は、現在のところ病院の診療費などと一緒に医療費控除の対象になっています。検討されているのが、市販薬を対象にした新しい医療費控除の枠です。家族合わせて年間1万円以上の市販薬を購入した場合は1万2千円を超える部分が、医療費控除として課税所得から差し引けるといいます。

軽い症状は病院に行かずに市販薬で治してもらうようにすることで、医療費の削減に繋がり国の負担は減ります。また、市販薬を利用することで薬に対する知識や情報も必要になってきます。まだ、決定はされていませんが、市販薬の領収証は保管しておいた方がよさそうです。

国の財政難もそうですが、国民一人一人が健康に気をつけることが大切ですね。



【編集後記】

4月は新人の季節である。

幼稚園児から新社会人まで新しい生命が躍動する。大きな希望を背負っての第一歩だ。

自分の大きな夢を是非かなえてほしいが、夢の実現もさることながら、大きな夢に向かって頑張ろうとする志こそが大切だ。そして、その実現のために苦しくてもへこたれることなく一步一步歩み続けることだ。

ふと振り返ったときに、自分の力もまんざらでもないと感じる時が訪れると思う。頑張れ、新人たちよ。